

蔵増北青壮年会だより
発行 第52号
平成21年12月20日

そらねん



発行人会長 後藤賢次
編集委員長 土屋博明
編集 機関紙編集委員会

おめでとう「北青壮年会」設立30周年



撮影：H21.9.27 野山を歩こう会 佐藤春彦 文：秋保栄

**原生林にどっしりと400年
大トチのおばあさん**
野山を歩こう会
月山の自然を学ぶ

** 月山自然博物館 **

月山のブナの森 原生林を訪ねた。ブナの命は二百年以上という。風雪に耐えかね、枝折れを起こし、菌や虫が入って朽ち果てる。ブナの葉は落葉し、腐葉土となり、山に潤いの水をたくわえる。森を進むと「キャップ」とよばれる大きく明るい空間に出会う。巨木が倒れ、開かれたすきまだ。倒木して土に還るのに三十年はかかるという。そこに落ちた実から幼い木が明るい日差しを見て育っていた。山全体に命のサイクルがある。この育みを壊してはならない。ごらん、この大トチの木は樹齢約四百年。「大トチのおばあさん」と呼ばれ、近くには「大ブナのおじいさん」、どっしりと大地に根を張り、自然を謳歌している。

おかげさまで三十周年

人と人との交流で 心豊かな地域づくりを

蔵増北区の先輩方が昭和五十四年五月八日、北公民館で盛大な設立総会を開催してから早や三十年経ちました。

当時は百名ぐらいの会員がおられたと聞いており、多くの先輩方から御貢献いただきおかげさまで現在の充実した会運営に至っております。全ての先輩諸氏に厚く感謝を申し上げます。



写真 昭和62年書道部発足の頃です。

青壮年会活動は、人の交流 文化の創造 生涯学習です。

人と人との交流で心豊かな地域づくりを「皆様の参加と御協力をお願いします。」

(後藤賢次記)

さて、会設立のきっかけとなったのは、「市連合ソフトボール大会や将棋大会に参加したいから」ということであったと伺っており、ソフト部は初出場初優勝、将棋部も初出場準備優勝と素晴らしい実績を残しており、その伝統は今に引き継がれております。

競技のほかにも、盆踊り大会運営や公園の草刈り、美化運動などの奉仕活動会員の交流や親睦活動も継続しており、近年は新たな部も増え、勢い益々盛んです。これからも地域のため、会員のためになる活動を続けていきたいと考えております。

「そうねん」合冊版発行
北公民館に「扇風機」
祝賀会は二月十四日
三十周年記念事業

三十周年記念事業に向け、三役及び各区代表三名、計七名による実行委員会を組織し、内容の検討をいたしました。

今回は、機関紙「そうねん」の創刊号から現在までの合冊版を複製発行し、保存版として北区全戸に配布することにしました。約四百ページからなるこれまでの青壮年会の歴史をこの一冊で垣間見ることができると思います。

また、七月下旬に壁掛用扇風機五台(卓上用二台は注文中)を北公民館に寄贈し、涼しい風の恩恵を受け、皆さんから喜ばれています。祝賀会は経費を掛けないようにして、年が明けての二月十四日(日)開催予定です。(十屋博明)

じわんばれ年男

かのえとら
庚寅年 新春の夢



新年は冥土への一里塚
北一区 森山 輝明
(昭和37年生まれ)

蓮如上人が広められた御文に白骨章というのがあります。これは「人は生まれたからには必ず死ぬもので、その一生は、あつという間に過ぎ去つてしまふものであるから、皆さんも早くそのことに気づいて生きてください。」ということ。夢を持つことは悪いことではありませんが、それがために見栄や欲望にとらわれ悩み苦しむことは哀れなことです。一瞬を見逃さず大事に生きましょう。



新しい年に向かつて
北三区 土屋 公男
(昭和37年生まれ)

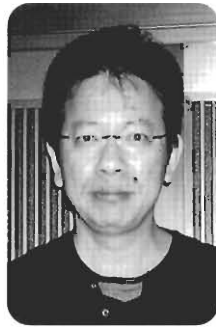
新しい年を迎え、今年自分分が四十八の年男という事もあり、ひとつの節目になるということを感じます。

平凡なことですが、朝「行って来ます。」そして、夜「お帰りなさい。」なんと素晴らしいことでしょうか。これ以上、何を望みますか。朝出かけたその人が、その言葉通り帰って、ちゃんと生きて帰ってきただけです。

昨年百年に一度の不景気ということで、いろいろ大変でした。それを乗り切れた事は大きな収穫でもあり、これからの人生に良い経験につながったのだと思います。年々身体の衰え、お腹の具合を実感します

生活の中で一番大切な事は健康であるということ、自身身だけでなく、家族全員が健康であるという事が私の願いです。

無理のないように楽しみながら身体をつくり、仕事に反映させていきたいと思えます。



健やかに毎日が送れるように

北三区 東海林 由人 (昭和37年生まれ)

「そうねん」の名物コーナー、まだまだ先の事だ、なんて思っていました、とうとう

五回目の寅年を迎える事になりました。歳は一丁前なの、ふと、「世の中や周りの人の役に立ってんのかなあ。」なんて考えると、?となつてしまいます。確かにひと回り前くらいまでは、競争心も欲もありましたが、今となっては恥ずかしい話、好きな人とのんびり過ごしてほのぼの的微笑んでいられたら、それでいいかなあと思うようになってきました。

そう願いつつも、足元の息子達を見ると、大学三年、高校三年、小学校三年と、世相踏まえ、リアルタイムに環境変化しているのが現状です。

という事で、やはり親父は「丈夫な身体でバリバリ稼ぐ。」というのがしばらく続きそうです。

決まりました。新年度の目標は「運動の常習化と体重マイナス10kg」とします。

還暦を迎えての人生感

北三区 山崎 秀行 (昭和25年生まれ)

この度、原稿の依頼があり



びっくりしました。というのもここ数年は青壮年会活動に対する心構えが薄れ、休会のようになっていたからです。私に少々の渴を入れる為かなあと思つて引き受けました。

私も早いもので来年還暦になるのです。若い頃六十歳代の方を見たとき、老けた感じだなあ、という印象がありました。その私が還暦とは、

人生経験が長くなると様々な事があり、子ども、孫の誕生、そして死に何度となく出くわします。人の誕生ではこの上のない喜びであり、子ども、親、そして社員や役員との死別は非常に辛く、悲しい現実があり、その度に世の流れを感じさせられます。

また、現在から将来に向けて経済、環境に厳しさを増すであろうけれども、私達大人が子ども達に住みやすい世の中にすべく、最大限の努力を惜しまず、推進できるよう頑張つていきたいと思えます。

還暦(と思う)

北三区 土屋 強 (昭和25年生まれ)

還暦の「還」はかえる、もどる、「暦」は千支(十千、十支)を意味し、六十通りの組み合わせで、六十年で千支が一回りして生まれた年の千支に戻るそうです。自分はまだ還暦を迎えたという実感は全然ないのですが、六十歳という年齢になったのは事実として受け止めています。

私の趣味の一つに山登りがあります。七月に我が青壮年会の仲間から宮城県の栗駒山登山の誘いがあり、自分はまだまだ若い、栗駒山なんか楽に登れると思ひ、気軽な気持ちで参加しましたが、途中何度もリタイアの不安に、でもみんなから助けられ、何とか無事登頂することが出来ました。気持ちには若いけど、体力的には「歳」を感じさせられ



た出来事でした。

これからは、孫から優しい「おじいちゃん」と慕われるように心がけ、また、「百術不如一誠」の言葉を肝に銘じて健康に気をつけて頑張りたいと思えます。

- 【昭和25年(1950)】
 - 年齢表記「数え→満年齢」に朝鮮戦争おこる
 - 金閣寺 放火による全焼
 - 警察予備隊創設
 - 羅生門(黒澤明監督)
 - 東京キッド(美空ひばり)
 - イヨマンテの夜(伊藤久雄)
- 【昭和37年(1962)】
 - 天童市農協の有線放送開通
 - 天童市と豊栄村合併
 - 国産飛行機YS-11試験飛行成功
 - ツイスト流行
 - 金田正一 響三振世界記録
 - 東京でスモッグ問題化
 - いつても夢を(橋本寿・吉永小百合)
 - キューポラのある街
- 【平成21年(2009)】
 - モンテディオ山形 来期もJ1
 - 天人 愛上杉景勝直江兼統
 - オバマ大統領就任 チェンジ
 - 吉村美栄子知事誕生
 - つや姫デビュー
 - 政権交代 事業仕分け
 - 新型インフルエンザ大流行
 - 派遣切り・草食男子
 - 歴女(戦国武将通の女性増加)
 - 北青壮年会三十周年を迎える
 - 「走遊会」発足



去年は雨、今年は新しいグラウンドで決勝進出!



西沼田直伝火起こしの技「いなほっ子」炬火リレー

笑顔いっぱい、 あの 場面

北区夏まつり・盆踊り大会 (8月9日)
地区レクリエーション大会 (9月6日)
分館対抗駅伝大会 (11月1日)



すごいぞ1番だ、注文受けたら即配達で〜す



びよ〜ん 息びったりイ その調子でびよ〜ん



迫力! 消防団・洋一さんから 青壮年会・公男さんへ



冷夏といわれた夏でも、今宵は熱い盆踊り



クル〜ッと 輪をかき、まわった 笠の花
みんなの熱気で 遠のく雨雲……



こんな楽しいお店が、
毎日ここにあると良いのになあ〜(納得!)

走遊会入会の公男さん
健康度NO1 志保さんへ襷



激走2・8km 秀弘さん
期待の安尚くんへ襷を渡す



頼りのアンカーは、編集長博明さん
県駅伝ランナーがいる塚野目を猛追



見て真紅の優勝旗、チーム力を結集し平成16年以来です

いきいき
あの
感動



心一つに準優勝 お見事、良くやったあ!

第30回地区分館対抗駅伝大会
準優勝 平成21年11月1日
タスキをつないだランナー

- | | |
|----------|---------|
| 1区 佐藤史弥 | 2区 奥山洋一 |
| 3区 東海林真紀 | 4区 土屋公男 |
| 5区 土屋志保 | 6区 秋保秀弘 |
| 7区 土屋安尚 | 8区 鎌倉瑞希 |
| 9区 土屋博明 | (敬称略) |



なんかキャピキャピ小学生のよう



目の前で大石景子さんの歌声を堪能
いい声、良い音、なんか夢みてるようたあ



いっすねえ この雰囲気
菊池義盛さん・大石景子さんのデュエット



えくね、えくね チューンばっちりだあ
森山輝明さん・鈴木清雄さん

棋力もきつとアップ

上山温泉で 将棋部一泊練成



想像しがたし シイチャリメツチャカ?

くたびつだあし。「将棋も中々体力がある。ここで夕食となる。話が弾み延々とながーい宴会モード、Sさんはどっぶりワインの虜に！夕食後は、四人揃えばやはり麻雀。将棋の駒から麻雀パイを握る羽目に、麻雀も飲みすぎがたりシイチャリメツチャカ??。という訳で、今年の合宿は良く訳が分からないまま、無事終了しました。皆さん、棋力が向上しましたのでしょうか? (土屋政美記)

晩秋の11月28日、将棋クラブ御一行様は、上山温泉「縁起家まるみ」を目指した。残念ながら参加人数が四名といささか寂しかったのですが、ここは少数精鋭、参加できなかった方の分まで楽しむぞと、「身近でリフレッシュ！棋力もきつとアップ！」をテーマに練成会に臨んだ。
宿に着き早速、ビールで乾杯。(某Tさんは野菜ジュースだったな) さあ、合宿突入。真剣な眼差しで盤上に集中する、一局、二局と戦いを終えると皆さん「ああ、

天敵千布 三たび立上げだか 三年連続三位 市連合ソフトボール大会

第35回
大会が7月12日(日)市スポーツセンターを会場に19チームが参加して開催されました。1回戦は高木青壮年



鈴木監督のサインは「ホームランを打て」

会4対3で競り勝ち、2回戦の相手は昨年、一昨年、いざれも準決勝で敗れた千布青壮年会、結果は7対9で惜敗でも、昨年は11点差、一昨年は3点差で完封されており、今年は粘り強く力を尽くして戦えたと思います。ともあれ、第3位、選手のみならず、大変ありがとうございました。ソフトボールをやりたい方は、若い方、女性の方、昔やった事のある方、ない方もぜひ参加してください。大歓迎です。一緒に優勝の美酒を味わいましょう。(鈴木光芳記)

栗駒の自然を撮る

《写真部移動撮影会》

7月11日、12日



硫黄臭が漂いながらも活火山「栗駒山」

今年秋は秋田、岩手、宮城の三県にまたがる栗駒山。昨年地震の影響で中止になったので、再チャレンジ。
午前9時頃今晩の宿となる「須川高原温泉」に到着。レストハウスでマップをもらう。登り始めてすぐのとこで、強酸性ペーハー2、湯温49度の源泉が湧き出ている。硫黄の臭いが強い！蒸し湯のおいらん風呂、お花畑でワタスゲを覗く、地獄谷を通る。マップには「硫化水素ガス噴出」昔は熊も死亡・立入絶対禁止という注意書きが。
栗駒山噴火により出来たエメラルドグリーンの昭和湖をまじかに見て山頂を目指す。天狗平付近ではハクサンチドリ、クロウソゴが見つかった。



たまんないっ エメラルドグリーン露天風呂

12時10分頃山頂1627m到達し、昼食、麓で買った稲庭うどんを茹でて食べた。これが実に旨かった。佐藤仙人が水や瓶入りそばつゆを下界から持参してくれた。重かったらうに。何気なくこなすのが仙人たるところ(平伏)。帰りは自然観察路を下る。三途の川で休憩をとり、宿に戻ると窓越しにツバメが大勢で迎えてくれた。

二日目 山伏岳

クールダウンのつもりで難易度の低いと思われた山伏岳(1315m)に寄ることに。ところがどっこい、栗駒よりもハード。「標高よりも標高差」帰りは秋の宮温泉に浸り、蔵増に帰って来年に向けての反省会をした。(土屋久雄記)

宮城県最高峰

南蔵王 屏風岳 に登る 野山を歩こう会



特別ゲスト日野夫妻も同行 夏でも気象は厳しい(屏風岳山頂)

行のT氏の車を見つけて
ホッとする。10時登山開始。
ガスと風で寒く8月とは思え
ない。花の時期には遅く湿原

8月22日、曇のち晴れ。
参加者9名。登山口は蔵王エコーラインとハイルインの分岐辺りという
ことなのだが、先



主峰神室山より姿が美しいと言われる「小又山」

に花はなかった。屏風岳山頂(1817m) 12時15分着
下山途中から天氣が良くな

り、熊野岳や蔵王ハイライ
ンを上る車も
見えてくる。
登山口着14
時35分。日差
しが暖かく感
じる。
下山後、上
山温泉の百円
の共同浴場
に入り、公民館
での反省会へ
直行した。
次は小又
(こまた)山。

我ら元気な五十路ランナー 《走遊会 白鷹若鮎マラソン大会》



走遊会は6月に行われた、「さくらんぼマラソン大会」後の目標として、9月20日(日)に行われる「白鷹若鮎マラソン大会」に参加することになり、月に2回の合同トレーニングと各人の技量にあった自主トレを積み重ねてきました。大会には前回よりも1名多い6名がエントリーし、佐藤俊彦さんが初デビューしました。

コースは日本陸連公認で、蚕桑小学校がスタート、ゴール地点。当日は晴天で風もなく気温は少し高めでしたが、コンディション良好で、各人がスタート時間に合わせウォーミングアップ。号砲の緊張感を味わいながら各種目毎にスタートし、全員が完走、気持ちよい汗と達成感を味わうことができました。

また、11月1日酒田市の「茂木杯マラソン大会」に森山美典さん、11月8日天童市の「奥の細道マラソン大会」に土屋博明さんが参加し完走、9月には三区の土屋公男さんが入会し、益々充実してきた走遊会です。(山崎進 記)

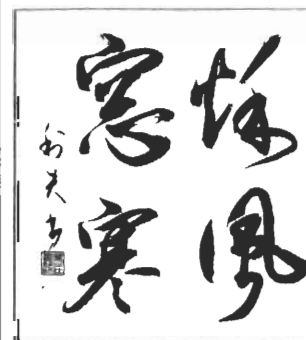
編集委員

委員長：土屋博明・常任委員：森山美典、秋保栄、山崎昭夫・区選出委員：1区 土屋政美、2区 土屋忠幸、3区(兼)土屋博明
部選出：リテ部 鈴木光芳、将棋部(兼)土屋政美、麻雀部 熊澤常也、書道部 佐藤俊彦、写真部 大木富雄、野山を歩こう会 佐藤春彦
走遊会 山崎進

神室連峰最高峰
小又山に登る
10月11日、雨のち曇り。
参加者7名。最上町に着く頃
に晴れ上がる。登山開始9時
過ぎ、3時間40分で山頂(1
367m)着。山頂について
ホッとしたら20名ぐらいの
大集団が現れた。最上町が募
集したツアー登山客とのこと
昼食時は気温が下がり、おに
ぎりを持つ手が凍え吐く息も
白くなる。下山後は大堀温泉
で体を温め、北公民館でいつ
もの反省会。(佐藤春彦記)

わたしの作品

《五十嵐利夫さん揮毫》



わたしが書
道を始めたの
は数年前。書
道部に入会し
たのは勢いで、
一番の目的は
「みんなと酒
をワイワイ飲

みたい！」と動機は不純？だ
つたと思います。しかし、岩
月竹陽先生から書道の手ほど
きを受け、筆を持つ手にも緊
張が走りまわ
ることを目標に努力して少し
でも上手になればと思ってい
ます。これか
ら『書くこ
と』『続ける
こと』をモッ
トに頑張ろ
うと思ってい
ます。
生涯学習！

近所のニュース

《ようこそいなほの里へ 河原さん》



河原伸丞(しんすけ)さん、30歳、東京都大田区出身、小さい頃から農業に憧れを持ち山大農学部に進学。都内のIT関連会社に3年半勤務し、平成19年かねてからの目標であった農業を始めるために庄内で1年間の研修を受け、今年4月から蔵増に移住。5ヶ月間の新研修農支援研修で稲作の勉強を行いました。住まいは北1区の森谷茂伸さん敷地内に借家し、県立病院勤務の奥様(鶴岡市出身)と二人暮らしです。

現在、稲作を中心とした営農開始に向け、水田を探しています。「耕作者をお探しの話がありましたらご連絡ください」とのことでした。(携帯080・3505・5318)

農業で夢を実現しようとしている河原さんがんばってください。(佐藤春彦記)



表紙題字

書道部長 佐藤翠峰(俊彦)書

▽世間では新型インフルエンザが爆発的に流行し、また、人の命を何とも思わず危めてしまう事件など暗いニュースが尽きません。だんだん先行き不安になっているのは私だけではないと思いますが、せめて、明日を楽しむ気持ちをもって、青壮年会の仲間と酒を酌み交わし、色々なことを語り合い、過(か)していく日々がこれからも続くことを願いたいです。(大木龍雄記)

これからの行事 平成22年

1月17日(日)新春麻雀大会 1月24日(日)地区青壮年会レクリエーション(ディスコン)大会

2月7日(日)分館対抗冬季レク大会 2月11日(木)北区新春将棋大会 2月14日(日)北青壮年会30周年記念事業

この人

北3区

山崎秀樹 さん



現在JA天童支所の金融共同課長を務め、毎日閉店後の公金管理も含め多忙な毎日を送っている。仕事への思いとしては、「農家の人からお陰様で助か

たり、飲み会もやったり、情報交換ができる。年金友の会の事務局も担当しているため、いろんな面で為になっている」という。子どもさんは3人。末っ子がいま県立寒河江高校の2年生で野球部に在籍、秀樹さんは保護者会長を務めている。息子さんは4番で投手、子ども

校で投手をやり、県ベスト8に入ったといい、末っ子への期待はさらに膨らむ。「ワイワイ盛り上げるのが好きな性格で、ついつい熱が入ってしまふ。試合に出られなくても一所懸命がんばっている子どもたちのためにも、少しでも役に立ちたい」という。これからやりたいことは、「来年夏で子どもの部活も終わるので余裕があれば、書道とか、釣りをやってみたい。釣りは五十嵐俊一師匠の手ほどきを受け、80センチメートルの鯉を吊り上げたことがある、その感触、醍醐味はいまでも忘れられない」という。超多忙な秀樹さん、健康にも注意して頑張ってください。(聞き手 秋保末)

秀樹さんは、北区連合会長などの要職を務められた山崎秀太郎さんの長男です。

つた、などの言葉をいただいた時が何よりも嬉しい」と語る。お客様とは仕事を超えた付き合いもあり、「様々な職業の人と旅行に行つ

ナイスショット で準優勝

地区青壮年会
パークゴルフ

今年で2回目のパークゴルフは7月5日小原SRPで開催され、北チームから2チーム8名が参加。スタート直後、某M氏は連続右のラフに打ち込む。更に最終ホール、背丈の低い木を避けようと打ったボールが狙ったかのように見事その木に当たって跳ね返り、打った場所に逆戻り。再三のアクシデントに意気消沈、競技の結果は、団体戦は北Aチームが惜しくも1打差で昨年に引き続き準優勝。個人戦は佐藤春彦さんが、合計打数66(コースハー66)で昨年よりひとつ上位の準優勝であった。(土屋博明記)

コーヒータイム

▽最近いろんなニュースを見ていると、殺人、偽装詐欺、汚職事件とか毎日のようにテレビや新聞で流れます。毎日が不安で人を信用する事の出来ないことばかり、

気をしっかり持って「前向き」に暮らし、自分の「良心」を正しく持っていたいものです。導師は一生懸命働くことによつて得られる事は「人に愛される事」「人にほめられる事」「人の役にたつ事」。人から必要とされる事」と諭します。言葉を肝に銘じて精進したいと思います。(鈴木光秀記)